

指定管理者による公の施設の管理運営状況（令和6年度分）

施設名	茨城県民の森、茨城県植物園、茨城県森のカルチャーセンター、茨城県きのご博士館
施設所管課	茨城県農林水産部林政課
指定管理者	公益社団法人 茨城県農林振興公社 理事長 藍原 伸夫
指定期間	平成31年4月1日～令和7年3月31日（6年間）

1 施設の概要

施設所在地	茨城県那珂市戸 4589 外
施設の概要	<p>(1) 面積：77.6ha</p> <p>(2) 施設</p> <p>①茨城県民の森（64.7ha）</p> <p>②茨城県植物園（12.0ha、熱帯植物館（2,693.75 m²）、展示室（280.00 m²）、レストハウス（166.18 m²）、管理事務所（250 m²） 他</p> <p>③茨城県森のカルチャーセンター（648.00 m²）</p> <p>④茨城県きのご博士館（1,147.60 m²）</p> <p>⑤その他（休憩舎、東屋、トイレ、遊具、遊歩道、駐車場、梅林等）</p>
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の運営に関する業務 ・ 施設の維持管理に関する業務 ・ 施設の利用の制限等に関する業務 ・ 特定施設の使用の承認に関する業務 ・ その他施設の管理上必要と認める業務

2 職員の状況

常勤職員： 11人	非常勤職員 24人	合計 35人
職員 4+嘱託 3+臨職 4	パート 24	

3 収支状況

令和6年度 (単位：円)

収入		支出	
指定管理料	106,665,000	人件費（給与等）	58,146,062
利用料収入	2,550,460	光熱水費	10,246,576
自主事業収入等	445,118	租税公課	55,600
その他（利息等）	0	自主事業費	432,000
		その他（事務費・修繕費等）	40,362,862
収入合計	109,660,578	支出合計	109,243,100

4 利用状況

	令和6年度実績	令和5年度実績	令和4年度実績
① 年間利用日数(日)	78	310	308
② 年間利用者数(人)	(県民の森) 113,753 (植物園) 16,718 (熱帯館) 12,709 (森カル) 47,710 (きのこ) 25,666	(県民の森) 116,988 (植物園) 49,871 (熱帯館) 38,594 (森カル) 61,775 (きのこ) 29,699	(県民の森) 117,811 (植物園) 56,354 (熱帯館) 42,691 (森カル) 61,411 (きのこ) 28,738
③ 利用料収入(円) (指定管理者収受額)	2,550,460	6,760,400	7,984,840

※年間利用日数は、茨城県植物園の開園日数。なお、植物園、熱帯植物館はリニューアル事業に伴い、令和6年7月1日より休園とした。

5 サービス向上に向けた取組み

- 施設の利用促進を図るため HP や SNS 等を活用し、植物の開花状況や催し物等の最新情報を積極的に情報発信した。
- 施設の適切な維持管理を図るとともに、県による植物園のリニューアル事業が開始される6月末まで植物園においてバラや山野草などの展示会や園芸教室を実施した。また、開園から44年間の植物園の歩みをパネルで展示した。
- 休園後には不要となる園内の草花を有効活用するため、長年、植物園を遠足などで利用いただいた幼稚園、保育園に草花プランターを配布した。また、6月には一般の来園者を対象に沈床園の草花の掘取プレゼントを実施した。
- 来園者が楽しみながら学べるよう、県民の森などにおいて四季折々の植物の観察会や工作広場などを実施した。

6 利用者満足度調査の結果及び対応状況

- 実施方法
年間を通じて利用者に、所定のアンケート用紙により調査を実施。(植物園展示室、熱帯植物館、レストハウス、森のカルチャーセンター、きのこ博士館にアンケート箱を設置。)
- 調査結果
 - ①職員・スタッフの対応は
大変良い 53%、まあまあ良い 18%、ふつう 15%、あまり良くない2%
 - ②施設全体の感想は
大変良い 43%、まあまあ良い 17%、ふつう 20%、あまり良くない2%
- 利用者からの意見等
【良い点】
 - ・この植物園は木や植物に全部名前の案内があり素晴らしい。
 - ・今まで何度も来ているが、いつも花を綺麗に管理されていて楽しませてもらった。
 - ・きのこ館の幻想的な空間に癒され、知識も得る事ができて嬉しい。
 - ・人工物がほとんどなく、重厚な木材の机や椅子は、心を落ち着かせ、とても良い。
 - ・茨城県にこんな素敵な所があるのを知らなかった、また来たい。

- ・ 県民の森は四季を通して鳥の鳴き声がして心が落ち着き、散歩していても楽しい。どうかリニューアル後も残して行ってほしい。
- ・ 44年間ありがとうございました、リニューアル後も楽しみにしています。

【悪い点】

- ・ 県民の森のトイレが少ない、ウォシュレット付きのトイレが欲しい。
- ・ きのこ博士館の施設内が暗い。
- ・ 花があまり開花していなかった。
- ・ 植物の説明文の文字が小さい。

【要望】

- ・ きのこ博士館の壊れている音響と映像展示を修理してほしい。
- ・ きのこ博士館はせっかく良い施設なので、入場料ありで良いと思う。
- ・ 森のカルチャーセンター内にある自販機を休館日でも利用できるよう屋外に設置してほしい。
- ・ アイスクリームの自販機も設置してほしい。
- ・ もっと子供の遊具を増やしてほしい。
- ・ おむつ替え用のベッドがあると助かる。
- ・ 年パスの代わりに回数券がほしい。

○対応状況

- ・ 開花が少ない時期は、料金所付近や園路に草花のプランターを配置することや、年間を通して花が見られる熱帯植物館の案内をした。
- ・ おむつ交換台は、植物園のキッズルーム、森のカルチャーセンター、熱帯植物館に設置済み。
- ・ 老朽化した設備の修繕、利便性の向上につながる改修などを、県林政課に要望した。

7 管理運営状況の評価

評価項目	事業計画 (管理指標)	実績 (管理指標に対するコメント)	自己 評価	所管課 評価
維持管理	設備保守点検は、事業計画等に照らし適切か。	設備等保守点検は、専門の資格業者に業務を再委託し、適切に実施している。また、設備の老朽化に伴い更新計画の要望を県に行っている。	B	B
	整理整頓・清掃が行き届いているか。 (建物・植栽等)	利用者が気持ちよく利用できるよう最善の管理を行った。また、常に快適な施設となるよう心がけている。	B	A
	破損箇所の修繕は適切か。	利用者の安全を第一に指定管理者として対応すべきものは適切に修繕している。	B	A
施設運営	使用日数、使用時間等は守られているか。	条例等に従い、適切な時間管理運営を行っている。	B	B
	予約・利用許可等、利用者への対応は平等・公正に行われているか。	細心の注意を払って、平等・公正な対応に努めている。	B	B
	創意工夫により、魅力ある自主事業の実施等、施設の利用拡大やサービスの向上が図られているか。	マンネリ化にならないよう随時展示物を模様替えするといった施設の利用拡大を図っている	B	B
	利用者の要望を把握し、運営に反映させ、満足度を高めているか。	アンケートを実施するとともに開花情報や催事情報を随時提供し、利便性の向上を図っている。	B	B
運営体制	職員は適切に配置されているか。	毎月のシフト勤務表を作成し、各施設とも適切に人員の配置を行っている。	B	B
	要望、苦情等への対応は迅速かつ適切か。県へ報告しているか。	苦情に対しては、速やかに対応している。また、内容により県への報告も適切に行っている。	A	A
	事故・災害等、緊急時に備えた体制は確保されているか。	防災訓練等を実施し、緊急時に行動出来るようにしている。職員間の緊急連絡体制も周知している。	B	A
	県、その他関係機関との連携は取れているか。	催事、PRや管理運営等必要に応じて関係機関と連携を図っている。	A	A
利用状況	利用者数の状況は、計画を達成できているか。	リニューアル事業に伴い、植物園は7月1日から休園したため大幅減。県民の森は例年並みである。	B	B
	施設の稼働率は、事業計画に照らして適当な水準にあるか。	休園により催事は減少したものの、県民の森、きのこ博士館は有効な利用状況である。	B	B
収支状況	収支計画が適正に執行されているか。	年間の計画に対して適正に執行出来ている。	B	B
	経費削減に向けた取組みがされているか。	需用費をはじめ経費節減に取り組んでいる。	B	B

【総合評価】・・・各評価項目及び施設の性格・特殊性を考慮した総合的な評価

施設内の緑地や植栽木等を適切に管理するとともに遊歩道等の維持管理に努めていたほか、施設の不具合等に対して早急に対応するなど総合的な管理運営は良好である。

また、施設のリニューアル工事で多くの業者が出入りする中で、調整をとりつつ維持管理を行ったことは評価できる。

- ※ ・実績（管理指標に対するコメント）欄については、指定管理者が記入する。
- ・総合評価欄については、所管課が記入する。
- ・自己評価、所管課評価欄について

評価	評価基準
A	事業計画を上回る成果があったもの
B	事業計画どおりの成果があったもの
C	事業計画を下回っており、改善努力が必要なもの